

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800013	事業の開始年月日	平成18年7月1日	
		指定年月日	平成18年7月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 横浜茅ヶ崎東			
所在地	(〒224-0033)			
	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 5 - 5 - 1 8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成21年12月18日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月23日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://center.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・活動的なホームです。 ・外出支援に力を入れる事により、より深い地域交流が来ています。 ・一人ひとりの能力を活かした生活があります。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	横浜市西区浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年1月12日	評価機関 評価決定日	平成22年3月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所が工夫し優れている点】</p> <p>◇利用者主体の事業所運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回以上利用者会議を開催し、利用者から意見を聞いてイベントや献立などに対応している。コミュニケーションが困難な利用者には横に職員がつき、意思表示を確認している。 ・毎週1回以上利用者が献立を作り、食材を職員とともに買いに出掛け、調理・配膳・後片付けを一緒に行き食事を楽しんでいる。オヤツは職員の支援のもとに利用者が手作りして楽しんでいる。 <p>◇利用者の外出支援と近隣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候と健康が許す限り毎日散歩に出掛け、地下鉄センター南駅周辺に利用者それぞれの馴染みの店ができ（髪店・美容院・甘味店など）、理美容や鯛焼き・ケーキなどを求めて楽しんでいる。その途次、近隣の方々と挨拶を交わし交流を深めている。 ・管理者は着任以来、事業所への理解を深めて貰うため近隣との交流に鋭意努力し、近隣の諸会議には可能な限り出席した。その結果現在では個別利用者の外出を近隣の方から教えてもらえるまでになっており、事業所と利用者が地域に溶け込んでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	GHみんなの家横浜茅ヶ崎東
ユニット名	1F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3, 利用者の1/3くらい
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作り上げた理念があり、その理念は皆の目に留まる玄関に掲げて共有しています。また毎日のように外出・買物へ出掛けたりと実践に繋がっています。	・理念は1階玄関及び2階のリビングに掲示し、常に職員や家族来訪時に目にとまるようにしている。 ・理念の具現化に向けて、フロア会議やカンファレンス会議で良質なケアサービスとなっているか検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会等の行事へ積極的に参加する事で地域の一員として活動し交流しています。理美容は地元的美容院を利用し顔なじみになっており、認知症の理解を得られています。	・運営推進会議で地域の代表から紹介された都筑区の芸能大会や町内会の芋掘りに参加したり、地域的美容院や食料品店（ケーキ店・鯛焼き店）を利用して交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩中出会った人、新しく入るスーパー、レストランで利用者のこと、認知症のことを話して理解してもらえる様広めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月に一度定期的に行っており、会議内容や家族からの感想・要望等の情報は外出や地域の行事への参加に繋がっており、地域からも受け入れられています。	・運営推進会議は、近くにある同一法人傘下のグループホームと合同で開催しており、地域活動を行うにあたっての情報収集源となっている。	

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中学生の職場体験を受け入れており生徒だけではなく先生方や父兄までも理解をして頂けるように活動を伝えています。生活保護の入居者の状況報告は蜜に連絡を取り合っています。	・都筑区役所ケースワーカーの来訪があり、利用者について情報交換を行っている。 ・中学生の職場体験の受け入れやグループホームを知って貰うことで地域社会にグループホームの理解を深めることに役立っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	フロアの窓や居室の施錠はしていません。玄関の施錠は防犯上行っているが時には開放し自由な出入りが出来る様に工夫しています。会議では拘束について話し合いの機会があります。	・身体拘束をしないことについては、法人の安全対策委員会での研修により、全職員が周知している。 ・玄関の施錠は原則開放を目的としているが、特定利用者の安全を図る上から、日中一部の時間帯のみ施錠している。	・玄関の日中完全解錠を目指し、事業所内の体制の更なる検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が自覚を持って対応しています。利用者への対応に問題がないか常に話し合い未然に防いでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が研修に行き資料を回覧しています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の不安や疑問に応えられるよう十分な説明を行い理解と納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者会議を定期的に行い利用者の要望・意見を取り入れています。家族の面会時には家族の意見・要望を聞いており家族ノートに記録して運営に活かしています。	・週1回以上利用者会議を開いて利用者の意見や要望を聞き、家族来訪時には家族の意見・要望を聞いて記録し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議・全体会議を行い運営に関する意見・提案を皆で考え決める機会があります。記録は目を通せる場所に掲示しています。また必要に応じて個別に面談し対応しています。	管理者は、全体会議やフロア会議、3ヶ月毎の個人面接で職員から意見や提案を聞いている。聞き取った意見や提案は職員で検討して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半年に一度人事考課を行い努力実績を数字と自らの文章で表し、それが賞与、昇給に反映されやりがいに繋がっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人による研修体制が整備され職員の能力に応じた研修が徹底しています。管理者はOJTにより人材育成に取り組んでいます。個人面談をし向上心を持ち続ける様な環境にあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜GH協会に入っており交換研修やその他の研修・勉強会等への参加もしています。交換研修を行ったGHとの交流があります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の意向を大切にし利用者の立場にたった対応が出来るように努めています。また会話・行動・表情から汲みとる努力をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員は気軽に話しやすい雰囲気作りに努め訴えのあった内容を受け取るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容をまず受け止め、理解する努力をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念の”いつも一緒に笑い合って助け合って”を実践し暮らしを共にする関係を築いています。また共に笑い泣きというスタンスが日常の暮らしの中で溢れてます。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族は手紙・電話・面会等で相談しあえる関係作りをしています。本人と家族の絆を深める事によってケアも広がり、支えあう関係となっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の趣向を取り入れてなじみの店、場所を外出の機会として増やし継続していく支援をしています。知人・友人が訪問してきた時は橋渡しになる様に努めています。	友人、知人が来訪したときは場所を提供し、落ち着いて歓談してもらっている。利用者の意向を汲み取って、職員や家族の支援で馴染みの店に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活を共に過ごし一緒に暮らしているという意識をもって頂けるように配慮しています。またそれぞれ得意分野での助け合い、支え合いがあります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居した家族との交流があります。他の施設を探している時は相談にのっています。		
III 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何気ない日常の会話にも耳を傾け、その中から利用者の意向を把握しています。表現が困難な利用者においては行動や表情の反応をみながら汲み取るように努めています。	・利用者との日常の会話の中から、何をしたいのかを把握して支援している。コミュニケーションが困難な方には、家族からの情報を参考にして、本人の表情や動作から意向を汲み取るように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からの話を聞いたり家族の協力を得て生活歴の把握に努めています。これまでのサービス利用については入居時の実態調査を活用しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	有する能力や望む生活をよみ取る様に努めています。また生活記録・申し送り・フロア会議・カンファ等で情報を共有しチームケアを行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファにて情報収集・分析し課題を探りケアプラン作成を行っています。3ヶ月の短期目標、6ヶ月毎の見直しを行っています。状況や意向に変化があった時は随時見直ししています。	介護計画は3ヶ月の短期目標、6ヶ月の長期目標を作成し、見直しは日常収集している個人別情報を基にカンファレンスで行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子はもちろんの事些細な気づきも共有のノートに書き皆でアイデアを出し合っけてケアに当たっています。ケアの実践について試す期間を作り介護計画の見直しに取り組んでいます		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院の受診に職員が同行しています。本人や家族の要望に応じて理美容や買物の同行をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的な腹話術等のボランティア訪問があります。地域で行われる防災・水防訓練への参加をしています。毎年恒例の流しソーメンの竹は地域の方から提供があります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意を得た協力医がかかりつけ医になっており利用者も顔なじみになっています。利用者の体調や訴えをかかりつけ医に繋げています。また協力医療機関との連携があります。	・協力医が利用者全員のかかりつけ医となっており、月2回往診して利用者の健康管理を行っている。また、歯科医は月2回、歯科衛生士が週1回来訪して口腔ケアに当たっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪問があり日常的な健康管理が行われています。訪問時は日常の変化や気づきを伝え適切なアドバイスを受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はホームでの生活情報を伝えていきます。入院中においては家族と病院との話し合いの場を設け早期な退院が出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人より終末期に望むアセスメントをしています。面会時等には折に触れ家族と話し合う機会を作っています。入退院時には十分に話し合いをし記録に残して情報共有に努めています。	・重度化に際しては、本人、家族の希望、医師の指導に基づき対応している。終末期対応は職員教育も行っており、利用者・家族から要望があればできる体制は整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時は冷静に対応出来る様に緊急時ダイヤルを電話機の側の見やすい場所に掲示しています。また地域での研修や内部での研修に参加できる機会があります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜勤時や色々な場面を想定して定期的に避難訓練を行っています。地域での訓練にも参加しており協力体制を仰いでいます。近くの同じ法人の事業所と連携体制が出来ています。	・地震、火災などの災害に備え、日中発生ケース、夜間発生ケースなど、いろいろな場面を想定して訓練を行っている。近くの同一法人傘下のグループホームとも連携体制ができています。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	名字で呼びかけ言葉に配慮し個人の誇りを損ねない対応を心がけています。個人情報の扱いは慎重に行い鍵のかかった書庫に保管しています。	・利用者は人生の先輩であり、呼び掛けは丁寧に、介助支援はプライドを傷つけることなく、利用者のペースを尊重している。個人情報に関する書類は、全て施錠保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者会議で行事内容や食事メニュー等を話し合う機会を作っています。またその中で利用者は自由に意見を出し合うことが出来ています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の利用者様の心身の様子に配慮し、希望に沿ったことが出来るように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝洗顔の促しや介助を行い身だしなみを整えています。髭剃りをしたり女性は口紅をつける等をしておしゃれを楽しむ支援をしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて配膳や片付けを行っています。また、おやつ作りやイベント時・食事作りの時は献立作りから買物・調理・片付けまで職員とともに楽しみながら行っています。	・フロア毎に週1回以上（誕生会などイベントを含む）、利用者が献立を作り、職員とともに食材購入に出掛け、調理・配膳・後片づけを手伝い、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を記録し十分な栄養が取れているかチェックしています。水分摂取に関してはこまめに促し個別に記録しています。食事やお茶の時間は職員も同席し促しを行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけや誘導をしたり介助を行い清潔を保持しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表にて一人ひとりのパターンを探り時間毎による声かけや誘導をしています。さりげない声かけもしています。トイレの場所が分からない人には暖簾や貼り紙で工夫しています。	・排泄チェック表を作成し、さりげなく声掛けと誘導を行っている。リハビリパンツからパットと布のパンツへ、また布のパンツへと排泄自立に努力している。トイレの場所には暖簾を掛けるなど分かりやすくしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因を理解しすぐに薬に頼らず野菜や乳製品、水分等でコントロール出来るようにしています。また朝の運動・散歩など積極的に行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間を決めず、出来る限り本人の希望を取り入れています。入浴剤を使い気分を変えて入浴を楽しむ支援をしています。羞恥心のある方にはなるべく同性介助をしています。	・利用者に入浴を楽しんで希望時間に入浴できるように、午前10時から午後8時までを入浴時間としている。 ・男女スタッフにより希望者には同性介助を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に就寝時間を決めておらず就寝前にタバコを吸ったり、テレビを見たり、居室で過ごしたりと自由な時間があります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による説明があり、また薬剤情報紙により利用者の服薬している薬に関して理解出来る様になっています。個々の能力に応じた自立的な服薬の支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に応じた日常家事の役割を持っています。外に出て体操をしたり毎日の散歩等で外気に触れ気分転換が出来ます。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の体調に配慮しながら散歩を毎日行っています。本人の希望を取り入れた美容院や外出等を積極的に行っています。家族との外出や外泊もあります。	・天候と健康の許す限り毎日、散歩に出掛けている。地下鉄センター南駅周辺に利用者それぞれの馴染みの店（美容院・甘味店など）があり、買い物を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて個人のお金を所持しています。自動販売機を使ったり外出での買物であつたりと自由に使える支援をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望や訴えがある時は電話をして頂いています。また手が不自由な方には職員が代筆をする支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間から畑が見え季節感を味わえます。季節の花を飾ったりトイレに暖簾をかけ場所が分かり易いように工夫しています。行事等の写真は楽しく工夫して飾っています。	・リビングの採光は豊かで明るく、季節の花を生けたり、窓からの景色の変化で季節を感じることができる。リビングに畳を敷き、冬はコタツを置いて寛げるスペースを作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや和風スペースがあり行動や空間を制限する事無く思い思いの場所と時間を過ごして頂いています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談しながら仏壇やTV、タンス・写真等、なじみのものを持ってきて頂き居心地のよい安心した居室になるように工夫しています。	・ベッド・整理ダンスは備え付けで、ほかに家庭で使い慣れた馴染みの家具を置き、家族の写真や好みの小物類を飾り、思い思いに居心地の良い自分の部屋づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関にはベンチや椅子を置き出入りしやすいように工夫しています。動線に危険物を置かない配慮をし利用者にとって必要なものは撤去せずに安全を確保出来る様に工夫しています。		

事業所名	GHみんなの家横浜茅ヶ崎東
ユニット名	2F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3, 利用者の1/3くらい
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で話し合い作り上げた理念があります。その理念に基づき地域の行事等に積極的に参加しています。また利用者に書いて頂いた理念をフロアに掲示しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の祭り、催し物、芋堀り等積極的な参加があります。又、朝の散歩や日常的な買物でのコミュニケーションにて地域の人々と交流しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事等に積極的に活動することにより認知症の方でも私達と同じ日常的な暮らしが行える事の発信が行われています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月に一度定期的に行っており、会議内容や家族からの感想・要望等の情報は外出や地域の行事への参加に繋がっており、地域からも受け入れられています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中学生の職場体験を受け入れており生徒だけではなく先生方や父兄までも理解をして頂けるように活動を伝えています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる行為がされていないかチェックシートを使い定期的に確認しています。日中は居室や窓の施錠はしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が自覚を持って対応しています。利用者への対応に問題がないか常に話し合い未然に防いでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が研修に行き資料を回覧しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の不安や疑問に答えられるよう十分な説明を行い理解と納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者会議を定期的で開催し利用者の要望・意見を取り入れています。家族の面会時には家族の意見・要望を聞いており家族ノートに記録して運営に活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議・全体会議を行い運営に関する意見・提案を皆で考え決める機会があります。記録は目を通せる場所に掲示しています。また必要に応じて個別に面談し対応しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半年に一度人事考課を行い努力実績を数字と自らの文章で表し、それが賞与、昇給に反映されやりがいに繋がっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人による研修体制が整備され職員の能力に応じた研修が徹底しています。管理者はOJTにより人材育成に取り組んでいます。個人面談をし向上心を持ち続ける様な環境にあります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜GH協会に入っており交換研修やその他の研修・勉強会等への参加もしています。交換研修を行ったGHとの交流があります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の意向を大切に利用者との立場にたった対応が出来るように努めています。また会話・行動・表情から汲みとる努力をしています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員は気軽に話しやすい雰囲気作りに努め訴えのあった内容を受け取るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容をまず受け止め、理解する努力をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	楽しい時は一緒に笑い手を取り合って喜び合えたり、寂しくなった時も安心出来る環境作りに努めています。日々の生活を共にする事により職員と利用者の中にも助け合いがあります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が訪問された際は利用者との時間を大切にしています。又、職員は必ず家族と交流を持ち情報の共有や家族の思いもしっかり受止めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人が訪問してきた時は橋渡しになる様に努めています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が仲良くなれるように日頃から、レク、行事、お手伝い、散歩と積極的に取り組んでいます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居した家族との交流があります。他の施設を探している時は相談にのっています。		
III 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや、どのように暮らしたい等の希望を聞いたりカンファレンス等でアセスメントシートを活用し職員全員でしっかり検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からの話しを聞いたり家族の協力を得て生活歴の把握に努めています。これまでのサービス利用については入居時の実態調査を活用しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの能力を見極め、個人の能力に応じた必要なサービスや常に現状の把握に努めています。また連絡ノートや申し送りの情報を共有して職員全員で把握に努めています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファにて情報収集・分析し課題を探りケアプラン作成を行っています。3ヶ月の短期目標、6ヶ月毎の見直しを行っています。状況や意向に変化があった時は随時見直しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫等は個別記録や連絡ノートに詳しく記入し情報をケアプランに反映させています。ケアの実践について試す期間を作りケアプランの見直しに取り入れています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院の受診に職員が同行しています。本人や家族の要望に応じて理美容や買物の同行をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的な腹話術等のボランティア訪問があります。地域で行われる防災・水防訓練への参加をしています。毎年恒例の流しソーメンの竹は地域の方から提供があります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意を得た協力医がかかりつけ医になっており利用者も顔なじみになっています。利用者の体調や訴えをかかりつけ医に繋げています。また協力医療機関との連携があります。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪問があり日常的な健康管理が行われています。訪問時は日常の変化や気づきを伝え適格なアドバイスを受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はホームでの生活情報を伝えていきます。入院中においては家族と病院との話し合いの場を設け早期な退院が出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人より終末期に望むアセスメントをしています。面会時等には折に触れ家族と話し合う機会を作っています。入退院時には十分に話し合いをし記録に残して情報共有に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時は冷静に対応出来る様に緊急時ダイヤルを電話機の側の見やすい場所に掲示しています。また地域での研修や内部での研修に参加できる機会があります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜勤時や色々な場面を想定して定期的に避難訓練を行っています。地域での訓練にも参加しており協力体制を仰いでいます。近くと同じ法人の事業所と連携体制が出来ています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に相手の立場に立ったケアを行っている。又、職員同士で言葉かけ・対応について注意し合っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者会議で行事内容や食事メニュー等を話し合う機会を作っています。またその中で利用者は自由に意見を出し合うことが出来ています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の利用者様の心身の様子に配慮し、希望に沿ったことが出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣する時に本人の意思もくわえて洋服を選んで頂いたり、馴染みの美容室で髪型を本人の望む様に美容師さんと話しをしながら髪を整えて頂いたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて配膳や片付けを行っています。また、おやつ作りやイベント時・食事作りの時は献立作りから買物・調理・片付けまで職員とともに楽しみながら行っています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を記録し十分な栄養が取れているかチェックしています。自由にお茶が飲める環境にしてあり水分摂取に関してはこまめに促し職員も同席して声かけしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけや誘導をしたり介助を行い清潔を保持しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表にて一人ひとりのパターンを探り時間毎による声かけや誘導をしています。さりげない声かけもしています。トイレの場所が分からない人には暖簾や貼り紙で工夫しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因を理解しすぐに薬に頼らず野菜や乳製品、水分等でコントロール出来るようにしています。また朝の運動・散歩など積極的に行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や希望を考慮し無理強いをしないように入浴日をチェックしながら支援している。職員の都合で曜日や時間帯を決めずにタイミング、状況を見て個々に沿った支援をしています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息をなるべく取りやすい様にフロアへ畳やソファなどを置き、寛げるスペース作りをしています。就寝時間は特に決めておらずTVを見たり居室で過ごしたりと自由な時間があります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診医と薬剤師から随時、薬の情報を受け取り変更があったときも適切に薬剤師から情報を受け、職員間で間違えないよう申し送りをし情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に応じた日常家事の役割を持っています。外に出て体操をしたり毎日の散歩等で外気に触れ気分転換ができています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食を行ったり近所のスーパーへ買物に行ったりと外出支援に力を入れています。体調に配慮しながら毎日散歩を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じてお財布に小銭を家族の了解の下、持っています。お店で好きなものを買ってお金も自ら払ってもらっています。		

みんなの家 横浜茅ヶ崎東

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望そって時間帯を見ながら自由に電話が出来るようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間から畑が見え季節感を味わえます。季節の花を飾ったりトイレに暖簾をかけ場所が分かり易いように工夫しています。行事等の写真は楽しく工夫して飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアに畳・ソファがあり、自由な席で過ごしています。また、テラスを活用しその場所で一人で過ごしたり利用者同士が集まったりしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族が希望されたり相談されたときは自由に本人のなじみのある物写真・タンス・TV・椅子等を持ち寄り居室を居心地のよい部屋になるように工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線に危険物を置かない配慮しつつも全て取り除くのではなく必要なものは撤去せずに自立した生活が行われるよう工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 みんなの家 横浜茅ヶ崎東
 作成日 平成22年3月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関は施錠されている	長期・玄関の日中完全開錠 短期・職員の意識向上 ・近隣の理解・同意 ・家族の理解・同意	・頻回な職員会議を開き、話しあう ・身体拘束における弊害の勉強会 ・時間・期間を決めての実践と評価 ・施錠していないGH見学 ・近隣向けの勉強会開催や行事等への声かけ ・家族会にて話し合う ・利用者の声のすいあげを主とした利用者会議	・長期1年 ・短期3ヵ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。